なな山のどこで、どんな作業をしたいですか？

皆さんに応援していただき、活動記録用の写真を撮らせてもらっています。他にできる事もないので今年もつづけさせてください。(鎌田)

ビビリの私ですが、GV中級修了したので、学んだことを生かして活動したいと思います。キカイ操作も少しずつやっていけたらいいなと思っています。
(T.A)

なな山での様々な声の導きのままに身体を動かしていけるなら、どこで何をすることになっても楽しいです。(N山)

なな山の広場で木洩れ陽を浴びながら、クヌギとコナラのドングリを使い新作のヒンメリ作りを・・
(N田)

山に入っての伐採&下草刈り。道具(鎌、鉈、鋸、剪定バサミ)を使いこなせるようになりたいです。
(K.F)

体力を考慮し、西の山を中心に、ナラ枯れ伐倒後の整理作業、畑作業、道路沿い草苅等
を考えています。(隅田)

春夏秋冬、いつ来てもその折々の楽しみがありますが菫達が艶やかに春を告げる時に歩くのが好きです。(名黒)

冬枯れのなな山で林床植物のための手刈り作業を楽しみたい。でもナラ枯れの現状では不可能。当面は在来種の種を集めて、播種、移植作業です。
(M.M)

1 テーブル作り
　年内完成のつもりが全然はかどっていない😱
2 伐採
　出来れば、より多くの人に参加して頂きたいです。手分けして細い木もたくさんあるので。
3 エンジン式のウインチが欲しいです。
　伐採後の片付けが大変なので
4 草刈り
　(suda)

子供が入れない状況を少しずつでも改善したいです
市からの伐木と並行して伐倒と片付け、萌芽更新も含めて蘇る緑地になれば最高ですね (U※)

子供たちが走り回れるよう、西の山が元気になるような作業がしたい。(Ｉ田)

なな山から見る空の色がとても美しく好きなので、東の山のシノ竹の整備をして心ゆくまで空を見上げたい！！(Rain)

ナラ枯れで傷んだ山を蘇えらせるために、ひたすら働きます。初めて出会ったなな山の感動を再び。(石井)

現在、畑に面した斜面のくぬぎの木を、梅の木に植え変えていますが、美しい梅林に育て上げる事が夢です。
(高橋)

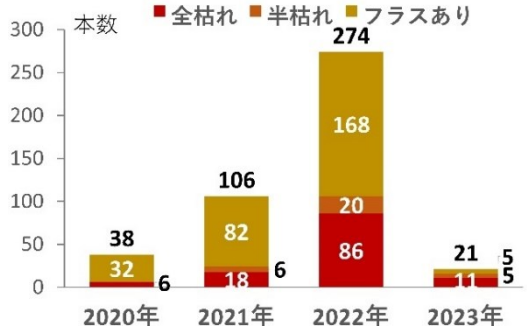
落種から強く芽生えた実生木を大きく育てたい。
育った樹々を伐採して利活用。伐り株は萌芽更新の期待も良し。(K.A)

枯損木を片づけ、林内で楽しく活動できるようにしたいですね。２０２３年の忘れ物を取り戻す年に(山田)

今年は、東の山の篠竹が健やかに育つ手伝いと、なな山広場入り口周辺を美しくしたいと思っています。
(夢見るym)

早春の西の山で枯葉の隙間から顔を覗かせるスミレを探し回るのが心地よい(Ｓ子)

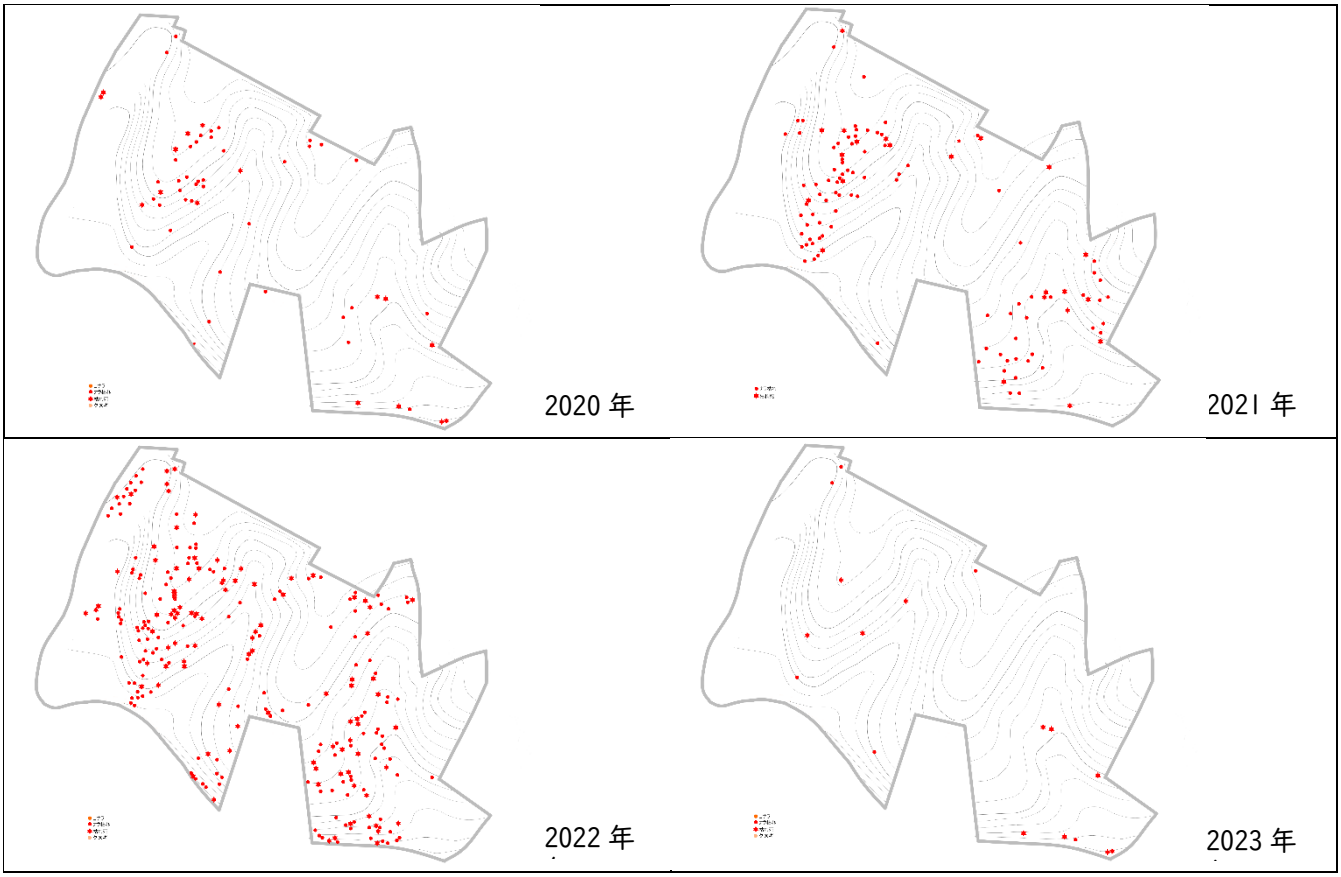
昨年 2023 年 4 年目を迎えたナラ枯れはほぼ収束してきました。今後は感染対策から、この 4 年間で発生した全枯れ木約 120 本の対策と里山の保全が課題になります。



ナラ枯れ調査グラフ

ナラ枯れ感染の経過
2020 年発生したナラ枯れは、2022 年ピークを迎え 274 本が感染しました。まだ感染が継続すると予想していた 4 年目の 2023 年は、完全にピークアウトし 21 本。全枯れ木の累計は 121 本。全枯れした翌年には早くもカビやキノコが発生し落枝も多く、被害の深刻さが目立ちます。

ナラ枯れ感染の推移
ナラ枯れの感染は、西の山から始まり、徐々に中の山、東の山と広がっていきました。ピークの 2022 年は全山感染です。



コナラ	462本
感染率	81.2%
全枯れ率	25.5%

ナラ枯れ被害（コナラ）

ナラ枯れ被害（コナラ）
ナラ枯れの被害木はコナラとクヌギです。なな山にはコナラが 462 本あり、感染率は 81.2%とほぼすべてが感染しました。全枯れ木は 118 本、全枯れ率 25.5%と、4 本に 1 本が被害にあっています。感染しても 4 本に 3 本が生き延びたと捉え直した方がよいでしょう。クヌギの被害は少なく全枯れ 9 本です。

ナラ枯れの今後
ナラ枯れは一度感染すると、木に抵抗力が付き、カシナガの穿孔を免れるといわれています。2023 年の被害激減から感染はほぼ収束したと思われますが、全枯れ木の対策が焦眉の課題です。2020 年市による伐倒に始まり、2023 年から会による伐倒などの対策を講じていますが、安心して山に入れる状況には当分なりません。感染の翌年から落枝が始まり、翌々年からは幹折れや倒伏の危険が増します。全枯れ木 121 本の伐倒を進め、危険を排除する必要があるでしょう。並行して苗木の移植や他の木の間伐といった対策を検討し、ナラ枯れ後のなな山の植生、保全の姿を描いていきたいものです。

「TAMA サスティナブルアワード 2023」
地球温暖化対策部門で大賞を受賞！！

TAMA サスティナブルアワード 2023 の表彰式が行われました。「なな山緑地の会」は、地球温暖化対策部門で大賞を頂きました！これまで 20 年にわたって続けて来た会のみなさんの活動や取り組みが、高く評価されました。
ナラ枯れなど厳しい状況もありますが、引き続きこれまでの活動や取り組みを絶やすことなく続けていきたいと思います。（N山）
※詳細はなな山ブログに掲載(2023.12.07)有

阿部市長から表彰状を受け取るN山会長

みどりの活動 20 年・10 年感謝表彰
なな山より 5 名の方々が表彰されました！

11 月 25 日、多摩グリーンボランティア森木会の総会に先立って 20 年表彰と 10 年表彰として該当者に感謝状と記念品の授与が行われました。
なな山緑地の会では、20 年表彰として、A田さん、K田さん、N原さん、T谷さんの 4 人と 10 年表彰はO田島さんが表彰されました。なな山を代表してK田さんが、多摩グリーンボランティア森木会のT村会長から受領しました。
1 団体から 5 名も表彰者がいたのは「なな山」だけでした。
長年なな山緑地の会を支えて頂いたことに感謝すると共に、これからもなな山緑地の会を支えて頂ければと思います。

感謝状と記念品を受けるK田さん

なな山の植物クイズ

③～⑤？の欄に名前を入れてみましょう。　・ヤブコウジ・アリドオシ・カラタチバナ

写真：松江の花図鑑より（アリドオシ、センリョウ、マンリョウ、ミヤマシキミ(ツルシキミ)、ヤブコウジ）

① 万両 A：マンリョウ	② 千両 B：センリョウ	③ 百両 C：　？
④ 十両 D：　？	⑤ 一両 E：　？	おまけ：最近ではミヤマシキミを億両と呼ぶそうです。

なな山日記（活動・観察記録）

Ｎｏ.466　2023年10月8日(日)　曇　気温18℃
参加者 10 人

林内のあちこちでナラ枯れによる落枝が発生。

- **作業/のり面の草の片付け、落ち葉溜めの整理、観察園作業、植物観察**
- **観察/キバナアキギリ、オケラ、ヤマウド**

Ｎｏ.467　2023年10月22日(日)晴れ気温17℃
参加者 14 人

ナラ枯れ状況報告からなな山の今後を考える時期になったようだ。

- **作業/チッパー小屋の解体、チッパー作業、サツマイモ収穫、飛び地の草刈り他**
- **観察/ヨメナ、キバナアキギリ**

Ｎｏ.468　2023年11月12日(日) 曇 気温 9℃
参加者　20 人

なな山の管理は皆の合意を図りながら進めていく必要がある。

- **作業/倒木処理、里芋収穫、観察園脇土留め、植物観察他**
- **観察/フジバカマ、ヒイラギ**

Ｎｏ.469　2023年11月26日(日) 曇 気温 6℃
参加者　14 人

作業の分担ができ効率的な作業ができた。

- **作業/コナラ伐倒、腐葉土を観察園への敷き込み、下草刈り等**
- **観察/リンドウ、ガガイモの実**

Ｎｏ.470　2023年12月10日(日) 晴 気温19℃
参加者　21 人

林内は一気に冬の景色になった。落葉掃きは冬の風物詩。

- **作業/ナラ枯れ枯損木の伐倒、観察園作業、ウメの剪定、落ち葉掃き他**
- **観察/ガガイモ**

Ｎｏ.471　2023年12月24日(日) 晴 気温10℃
参加者　22 人

過ごしやすい気温のなか、賑やかに 2023 年の納会を行った。

- **作業/落ち葉掃き、納会（芋煮、餅つき）、門松作り**
- **観察/センリョウ、マンリョウ**

ヤマウド

ヒイラギ

リンドウ

マンリョウ

編集後記

今回で発行 60 回目を迎えました。これも皆様が原稿にご協力くださったおかげです。ありがとうございます！これからも「なな山の今」を伝えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

今年は本格的になな山の復活に向けて活動をすることになりそうですね。なな山の風と水と土を考え、空気を感じながら作業したいです。（I 田）

なな山だより　第 60 号　2024 年1月 14 日発行
発　　行　　なな山緑地の会
発行責任者　　中山 茂樹
住　　所　　東京都多摩市和田 1336-1
ホームページ
https://nanayamaryokuti.jimdofree.com/
編 集 委 員　　鎌田 文雄　飯田 歩